



※ 200ミリの場合は、2メートル、6~7メートル、12~14メートル位の組み合わせで、20~24ミリの場合は、0.3メートル、1メートル、3メートル位の組み合わせで試されるとよいでしょう。

右の表は、前ページで御隠居さんが、同一の被写体に対して、レンズ別、距離別、f値別にデータを記入した項目を、一つ設けておく、と、どういう写り方をするかがわかって、何かと後で役に立つ、と言っていた内容を図式化したものです。関心のある方は、このような配列のデータ付き写真帳を作るとよいでしょう。特に、このテキストの中に綴じ込むと、知識がより定着します。

また、f値は「f4、f8、f16」になっていますが、「開放値、開放+3~4絞り、最大f値」の組み合わせも面白いものがあります。お好みの方でお試しください。

さて、熊さん、これからどんな難題を持ち込むのでしょうか。そのうち、ひよんな時に登場するかもしれません。

コピー及び転載を希望される方は、声をおかけください。

◎ 著者 佐藤 久典 (通称 トド)

新宿区四谷四の十三の三五 KMビル 一階 佐藤学習研究所  
 電話 〇三 三三五八 六五一八